

新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ <http://niigata-ksk.sakura.ne.jp>

会 長 稲田 春男
事 務 局 伊藤 明徳
会報編集 大場 勲

TEL 025-270-9427

新年のご挨拶

会長 稲田 春男

新年おめでとうござい
ます。日ごろから協会事業にご
理解、ご協力を賜りありがと
うございます。

加盟団体の皆様におかれま
しては、健やかな新年をお迎
えのことと、お喜び申し上げ
ます。

懸念されてきましたコロナ
も第5類に格下げ、7月下旬
に新潟市で行われた北信越ブ
ロック大会では規制が緩和さ
れ、今迄の大会と違い消毒が
省かれ運営がすこし楽にな
り、また、久しぶりに新潟市
での開催となり暑い中、近辺
の山岳会の皆様には慣れない
大会運営だったでしょうが大
変お世話になりました。

長年親しまれていた国民体
育大会「国体」の名称が今年
の佐賀から国民スポーツ大会
『国スポ』と名称が変わりま
す。ジムスカでも各ブロック
予選の変更がありました。

今までの成年男子は予選な
しで本戦に出られました。成
年男子もブロック予選を行う
ことが決定、各ブロックで4
種別のうち1種別を予選なし
で国スポ出場ができるシステ
ムになりました。

今年の北信越ブロックでは
成年女子が予選なしで佐賀国
民スポーツ大会に参加できま
す。

従いまして7月下旬の石川
県北信越大会では成年男子、
少年男子、少年女子の選考会
が開催されます。

今年は、以前から準備を進
めておりました全日本登山大
会が9月21日〜23日にかけて
湯沢町周辺の山で開催いたし
ます。

全日本登山大会はこの2月
に千葉県で開催されますが、
千葉県開催から時間がなく参
加者が懸念されているところ
であります。

また、アジア山岳連盟創立
30周年記念大会が7月24日か
ら28日にかけて弥彦村、長岡
市を中心にUAAA主催で開

催されます。アジア各国14か
国位の参加を見込んでいると
のこと。大きな行事が続きま
すが協力をお願いいたしま
す。

昨年は温暖化の影響で夏は
暑い日が続き稲作、野菜が不
作、また11、12月になっても
暖かい日が続いており異常気
象の1年でした。

今年はと想っていた矢先に
元旦早々大きな地震に襲われ
ました。

異常な自然現象が続いてい
ますが、皆様におかれまして
は幸多き年になりますよう心
からお祈り申し上げます。新年の
挨拶とさせていただきます。

第6回藤島蔵書研究 発表会が開催される

日本山岳会越後支部
遠藤 俊一

令和5年11月16日(木) 13
時から関川村の川北ふれあい
自然の家にて表記の研究発表
会が開催された。
概要は下記のとおりです。

1. 「藤島玄と周辺の人々」

発表者 高辻 謙輔
(抄)

藤島蔵書の整理をしている
過程でこんな人と交わりが
あったのかと思った山下久
男、吉田二郎、深田久弥、望
月達夫、今西錦司の各氏につ
いて話をされた。

①山下久男は、深田久弥と同
郷、同年生まれ。加賀市に
建立した久弥文学碑の詩文
は久弥が未丈ヶ岳山行の
時、魚沼市の清水川辺神社
で講演した際に、白布に揮
毫したもの。藤島に原文を
照会していた。その詩文
は「山の茜を顧みて 一つ
の山を終りけり 何の俘の
わが心 早も急かるる次の
山」である。

②吉田二郎 第2次RCC同
人、登山の傍ら吉田書店を
創業。蔵書館に同書店の古
書目録「岳書のため」が
残されていた。松本清張作
の「文字のない初登攀」は
吉田が下書きをしたともい

われている。

③深田久弥 昭和37年深田ご

一家と飯豊連峰縦走。東京

深田宅の九山山房を2回訪

問している。

④望月達夫 日本山岳会名誉

会員。日本山岳会機関誌

「山岳」の編集委員。「遠い

山近い山」等山の随想を著

している。藤島とは「山岳」

への寄稿を通して親しかつ

たようだ。

⑤今西錦司 元日本山岳会会

長。著名な生物学者。新潟

県の山に7回来ている。藤

島は同行したことが多かつ

た。

2. 「藤島玄 飯豊登山の足」

発表者 田邊 信行

飯豊連峰の登山関連記録を

「登山ノート」や種々の刊行

図書に寄稿した記録を調査

し、108の登山記録を発表

した。

飯豊の初登山は20才。

山都駅からの本山、大日岳

登山、最後の登山が73才。大

石ダムから北股岳、本山、御

沢への縦走だった。

山行日数433日、一回平

均4日、同行書数874名、

一回平均8人であった。

また、登山月では7〜8月

58回、沢登りからの飯豊連峰

が28回であった。

有名人との同行では、川崎

隆章、岡田紅陽、村井米子、

山崎安治、深田久弥、今西錦

司の各氏の名前がみられる。

3. 「藤島玄 飯豊の初旅」

発表者 多田 政雄

日本山岳会越後支部機関紙

「越後山岳」第2号に記録が

載った大正14年7月7日から

14日にかけての飯豊登山の記

録をもとに藤島のアルバムに

残された写真と組み合わせ、

往時の行動を辿った。

行程は次の通り。

7月7日小雨 新潟駅⇨山

都駅⇨川入村小椋宅(泊)、

7月8日雨 停滞、7月9日

雨 横峰⇨地藏山⇨三国岳⇨

飯豊山神社本社御供所(泊)、

7月10日霧 飯豊本山⇨御西

岳⇨大日岳⇨飯豊山神社本

社御供所(泊) 7月11日雨

切歯尾根⇨大崑尾根⇨玉川礮

幕営(泊)、7月12日雨 玉

川礮幕営(泊)、7月13日晴

玉川⇨長者原⇨大里峠⇨鷹ノ

巣温泉、7月14日晴 車で坂

町駅⇨新潟駅 歩程約12里

4. 「飯豊温泉を守って」

発表者 本間 正美

940年前に発見された温

泉のいわれや飯豊温泉として

の歴史について往時の写真を

映写しながら下記のように語

られた。

1083年負傷の大熊が湯

で傷を治しているのを見て温

泉発見。

1779年、上杉藩はイワ

ナ沢に道路を作り開湯。

1830年「飯豊温泉由来

記」作成。

1875年「越後屋旅館」

として開業。

1876年「村上屋旅館」

も開業。夏の期間だけの営業

だったが、新潟県内から多く

の湯治客が来た。

1959年越後屋、村上屋

共同経営で「湯沢屋旅館」と

なる。1962年町が温泉使

用権を譲り受け天狗平に「飯

豊山荘」を開業。

1967年「湯沢屋旅館」

閉鎖。1978年長者原地区

まで引湯して「飯豊梅花皮荘」

を開業、現在に至っている。

5. 「大日岳 実川口を行く」

発表者 佐久間 雅義

昭和26年5月2日から5日、

藤島玄ほか6名の同行の大日

岳、飯豊山登山の模様を藤島

玄撮影の写真を映写しながら

語られた。行程は次の通り。

5月2日 日出谷駅⇨実川

村。5月3日 実川村⇨湯ノ

島。5月4日 湯ノ島⇨大日

岳⇨御西岳⇨飯豊神社本社。

5月4日 飯豊神社本社⇨三

国岳⇨御沢⇨オソバ沢⇨弥平
四郎⇨徳沢駅。
当時、実川村から大日岳へ
の登山道はなく、登路を決め
る山行ではなかったかと推測
された。



(平田代表挨拶)



(聴講者の皆さん)

歴史の道八十里越りレー講演会 & 八十里越フォーラム2023 in ただみ

むささび会 遠藤 家之進 正和

歴史の道八十里越をテーマとし、只見町・三条市・魚沼市と連携したりレー講演会として、今回只見町で開催されましたので報告します。

(開催日)

令和5年11月5日(日)

(会場)

只見公民館

(講演者)

「絵図から見た八十里越」

長谷部 忠夫

「八十里越と私」

國井 雅比古

「現在の八十里越

そして未来へ」

大竹 晴義

最初に八十里越りレー講演会として、地元叶津在住で八十里越研究者である長谷部氏から、「江戸から明治に至る絵図から読む八十里越と道筋」と題して調査・作成した絵地図をパワーポイントで

フォーラム担当依頼があり、吉ヶ平を訪問し感動した思いから語り始めた。

只見は自由民権運動が盛んであった地域であり、温情ある民意の持ち主が多く、なお、先進感情が高く、新しいものを取り入れようとする気質がある。

数年後には289号線が開通となり、新潟との交通も盛んとなり、地域活性化が見込まれるが、これまで培ってきたものを持ち続けてほしいと結んだ。

次いで、大竹氏から「現在の八十里越そして未来」と題して、八十里越の古道整備をスタンスとして活動している内容をパワーポイントで説明があった。

現有の古道整備はもとより、289号線開通を狙って、新道から高清水沢の先に出る登山道整備を重点的に実施して、日帰りでも古道散策ができ、八十里越をPRすることにより、観光を含め地域の活性化の一助になるのではとの説明があった。

三氏による「八十里越の未来」パネルディスカッションでは、只見町がエコパーク承認を受けていること、国道289号線が開通する視野に立って、観光・交易をどのように進めるかが大事なのではないかと結ばれた。

「ごぜ」も越えたという八十里越、石川さゆりが歌う「ごぜ」の3番に「高田、長岡、八十里」の歌詞が有り、館内に大音響で流れ、あの八十里を「ごぜ」が越えた苦労を思い偲んだ。

最後に入叶津在住の参加者から、289号線開通で経済効果が期待されているのは分かるが、生まれ育ったところで死にたい、動きたくない、ここで死にたいと立退きが決まった後も、毎日母から言われていて切ないという発言があり、何とも言いようのない思いで聞くしかなかった。

翌日入叶津を訪れたが、山裾にある集落のトンネルが抜ける処には、解体作業中の立看板が有り、重機が入り家屋の取り壊しが始まっていた。



(フォーラム会場の様子)

WEST

OUTDOOR LIFE STORE

新潟 / 三条 / 長岡 / 上越

北信越五県(富山県、石川県、福井県、長野県、新潟県)連絡協議会の報告

理事長 今井 浩二

去る令和5年11月23日、長野県山岳総合センターにおいてJMSCA北信越ブロック北信越五県連絡協議会が行われました。

新潟県からは渡辺茂副会長、田中勉競技委員長、伊藤明徳事務局長、今井の4名が出席しました。

議題については次の通りです。主立った事項について記載しました。

1 第60回全日本登山大会

新潟大会参加のお願い

(新潟県)

渡辺副会長より資料をもとに説明、数人の方が参加したいとの意思を示して頂きましたし、呼びかけをして下さるとの内諾も貰いました。

2 北信越国体運営上の共通理解事項について

(新潟県)

今年度は、会議や式典の会場と競技会場が異なるという運営面での困難な条件があったが、役員の適切な動きで滞りなく大会を行うことができた事を報告しました。

また、運営方法等の変更案について提案をしました。

3 第17回山岳スキー(SKIM)日本選手権について

(富山県)

資料が配付され、役員の協力依頼がありました。

4 令和6年度安全登山指導者研修会(東部地区)について

(富山県)

5 JMSCA加盟団体振興推薦PTの取り組み状況について

(富山県)

6 国民スポーツ大会看板について

横幕(案)

(石川県)

来年度から「国民体育大会」が「国民スポーツ大会」に名称が変更になるため、横看板を新しくすること、その費用(41,800円)を各県で頭割りして欲しいとの提案があり、了承されました。

7 R6北信越国体について

(新潟県)

会場についてのご連絡

(石川県)

来年度のブロック大会(石川県)はボルダーを石川県内のジムで行い、リードは桜が池クライミングセンター(富山県)で実施したいとの提案があり了承されました。

8 北信越ブロックのJMSCA普及委員の選出

(長野県)

これまで通り長野県の大西さんをお願いすることで意見がまとまりました。

9 その他

今回は臨時総会の前ということで、「関東地区岳連意見交換会議事メモ」を参考資料に意見交換が行われました。結論を出すという趣旨ではないですが、これまでのJMSCAの会計処理の曖昧さからきていることについて改めて実感することとなりました。

今年度は長野県の都合で1日の日程(例年は懇親会を含めた2日間の日程で実施)でした。

会場の長野県山岳総合センター

ターは鷹狩山を背にした高台に位置し、北アルプスを望むことができるとも良い環境にある施設です。

10名以上揃い、事前予約すれば千円ちよつとで宿泊もできる施設になっています。

長野で山行を計画する際はよい拠点となる施設ですのでこの機会を借りて御紹介いたします。

食に寄り添い、心を通わす。 Alongside your cuisine and your life. HAKKAISAN www.hakkaisan.co.jp

登山・ハイキング・クライミング テレマーク&山スキー



パーマーク 長岡市西宮内2-97(長岡市役所裏通り) TEL0258(37)1200・FAX0258(33)1164 ●営業時間/AM10:30~PM8:00水曜定休

http://www.parrmark.co.jp

今後の行事予定

「令和5年度冬山研修・講習」

(期日)

令和6年2月17日(土)~

18日(日)

(受付開始)

17日16時

(会場、受付、宿泊、机上研修)

新発田市滝谷農村婦人の家

(実地研修)

付近山城(積雪状況により、適地で行ないます。)

(申し込み)

2月15日(木)までに、堀

口技術指導委員長へ申込書等

送付かメール送付。